

令和 7 年 8 月 29 日

独立行政法人国際協力機構の令和 5 年度の業務実績に関する評価書の
評定の変更について

令和 6 年 8 月付で外務省が公表している独立行政法人国際協力機構の「令和 5 年度の業務実績に関する評価書」について、フィリピン「首都圏鉄道 3 号線改修事業」（円借款）に関連して機構職員が調達手続に関する秘密情報を漏洩した事案を受けて、令和 7 年 6 月に JICA に提出された検証委員会の報告書を踏まえて、以下のとおり外務大臣評定を変更いたします。

なお、当該変更における法人の自己評価に変更はありません。

【修正箇所】

1. P.3-4（1. 全体の評定）

	変更前	変更後
総合評定	<u>A：中期計画における所期の目標を達成していると認められる。</u>	<u>B：全体としておおむね中期計画における所期の目標を達成していると認められる。</u>
評定に至った理由	法人に対する各項目別評定を踏まえて、総合的に法人の活動結果を判断し、 A 評定 とした。特に考慮した内容は以下のとおり。 ・大項目「国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」に関する項目の評定について、評価対象 9 項目のうち、S 評定 4 項目、A 評定 5 項目と、全ての項目で所期の目標を上回る成果を上げた。 ・大項目「業務運営の効率化に関する事項」、「財務内容の改善に関する事項」、「安全対策に関する事項」、「その他業務運営に関する重要事項」に属する項目の評定について、評価対象 6 項目のうち、S 評定 1 項目、A 評定 2 項目	法人に対する各項目別評定を踏まえて、総合的に法人の活動結果を判断し、 B 評定 とした。特に考慮した内容は以下のとおり。 ・大項目「国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」に関する項目の評定について、評価対象 9 項目のうち、S 評定 4 項目、A 評定 5 項目と、全ての項目で所期の目標を上回る成果を上げた。 ・大項目「業務運営の効率化に関する事項」、「財務内容の改善に関する事項」、「安全対策に関する事項」、「その他業務運営に関する重要事項」に属する項目の評定について、評価対象 6 項目のうち、S 評定 1 項目

	目、<u>B 評定 3 項目と、全ての項目で所期の目標を達成する成果を上げた。</u> <u>・法人全体の信用を欠陥させる事象はなかった。</u>	目、A 評定 2 項目、<u>B 評定 1 項目、D 評定 2 項目と、所期の目標を下回る D 評定の項目があることに鑑み、項目別評定を基礎とした場合の A 評定から、一段階引き下げた。</u>
2. 法人全体に対する評価	機構は、独立行政法人国際協力機構法に基づき、（略） <u>全体の評定を行う上で特に考慮すべき事項</u> <u>特になし。</u>	機構は、独立行政法人国際協力機構法に基づき、（同左） <u>全体の評定を行う上で特に考慮すべき事項</u> <u>2023 年度にフィリピン向け円借款「首都圏鉄道 3 号線改修事業」に係る JICA 職員による情報漏洩事案が発生したことを受け、2024 年 7 月に JICA 職員の懲戒処分を公表。同年 11 月に、事実関係の再検証及び更なる再発防止策の検討のため、JICA の下で検証委員会を設置。2025 年 6 月に同委員会から JICA に提出された報告書を受けて、現在は再発防止に向けた取組が進められている。本事案について、第 217 回国会において参議院決算委員会及び本会議における警告決議を受けた。（項目 No.11、No.14 参照。）</u>

2. P7（中期目標管理法 年度評価 項目別評価総括表様式）

修正前

I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項（略）

中期計画（中期目標）		年度評価					項目別 調査№	備考
	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度			
II. 業務運営の効率化に関する事項								
組織体制・基盤の強化、DXの推進を通じた業務改善・効率化	A○	SO				No.10		
業務運営の効率化、適正化	B	B				No.11		
III. 財務内容の改善に関する事項								
財務内容の改善に関する事項	B	B				No.12		
IV. その他の事項								
安全対策・工事安全に関する事項	A○	A○				No.13		
内部統制	B	B				No.14		
組織力強化に向けた人事	A	A				No.15		
短期借入金の限度額	-	-				No.16		
不要財産又は不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画	-	-				No.17		
前号に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	-	-				No.18		
剰余金の使途（有償資金協力勘定を除く）	-	-				No.19		
施設及び設備に関する計画	-	-				No.20		
積立金の処分及び償還等の回収により取得した資産の取扱いに関する事項	-	-				No.21		

修正後

I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項（同左）

中期計画（中期目標）		年度評価					項目別 調査№	備考
	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度			
II. 業務運営の効率化に関する事項								
組織体制・基盤の強化、DXの推進を通じた業務改善・効率化	A○	SO				No.10		
業務運営の効率化、適正化	B	D				No.11		
III. 財務内容の改善に関する事項								
財務内容の改善に関する事項	B	B				No.12		
IV. その他の事項								
安全対策・工事安全に関する事項	A○	A○				No.13		
内部統制	B	D				No.14		
組織力強化に向けた人事	A	A				No.15		
短期借入金の限度額	-	-				No.16		
不要財産又は不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画	-	-				No.17		
前号に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	-	-				No.18		
剰余金の使途（有償資金協力勘定を除く）	-	-				No.19		
施設及び設備に関する計画	-	-				No.20		
積立金の処分及び償還等の回収により取得した資産の取扱いに関する事項	-	-				No.21		

3. P. 154-155（No. 11 業務運営の効率化、適正化）

	修正前	修正後
総合評価	<u>評価：B</u>	<u>評価：D</u>
評価に至った理由	<評価に至った理由> （定量的実績）（略） <u>（定性的実績）</u> <u>経費、人件費、保有資産、調達などについて、年度計画の取組を着実に実施した。</u> <u>（結論）</u> <u>自己評価書の「B」との評価結果が妥当であると確認できた。</u>	<評価に至った理由> （定量的実績）（同左） <u>（結論）</u> <u>フィリピン「首都圏鉄道3号線改修事業」（円借款）に関連して機構職員が調達手続に関する秘密情報を漏洩した事案（※）について、第217回国会において参議院決算委員会及び本会議による警告決議を受けたことも踏</u>

	＜指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策＞ 継続中の改革推進の他、導入済み各施策の運用の定着に取り組むとともに、経費削減や生産性の向上及び事業の質の向上に貢献する高い付加価値業務の実施を期待する。また、新設されたスタンド・バイ契約（コンサルタント、機材及び輸送業務）等を活用し、迅速性が求められる局面において、機動的・効率的に適切な業務を遂行されることを期待する。 ＜その他事項＞ （略）	<u>まえ、主務省として、機構が業務運営の改善その他の必要な措置を講ずる必要があると認め、単に「改善を要する」とする「C」評定の程度を越えるものと考えられるところ、「抜本的な改善を求める」とされる「D」評定とする。</u> <u>※フィリピン円借款「首都圏鉄道3号線改修計画」に関し、JICAによる調査契約の調達において、公示前に、JICA 職員がコンサルタント会社（2社）に対して業務指示書案を漏洩。加えて、フィリピン政府による施工監理業務に関し、JICA 職員がコンサルタント（1社）に対して円借款コスト積算情報や施工監理業務の内容を漏洩した。</u> ＜指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策＞ 継続中の改革推進の他、導入済み各施策の運用の定着に取り組むとともに、経費削減や生産性の向上及び事業の質の向上に貢献する高い付加価値業務の実施を期待する。また、新設されたスタンド・バイ契約（コンサルタント、機材及び輸送業務）等を活用し、迅速性が求められる局面において、機動的・効率的に適切な業務を遂行されることを期待する。
--	---	---

	<u>また、今回の情報漏洩事案をめぐって、参議院決算委員会の警告決議を受けたことを機構として真摯に受け止め、調達業務に関する執行要領の整備、契約監視委員会での調達制度の検証・助言、役職員等向け研修の拡充を含む、再発防止策の着実な履行及びガバナンスの改善等の措置を強く求める。</u> <u>本事案の背景には、調達分野においては、円借款制度の迅速化・改善による業務の複雑化・広範化、職員の理解不足や対応のばらつきが見られたことが一因とされる。こうした状況は、制度運用の複雑性、法令・制度改正や社会的要請の高まりにより、さらに顕著となっている。加えて、マネジメント層によるリスク認識の共有不足や、現場との意思疎通の課題もあり、組織的な対応力や人材育成の強化が喫緊の課題である。</u> <u>フィリピン円借款事業「首都圏鉄道3号線改修事業」に関する検証委員会の報告書（令和7年6月13日）においても、調達制度の平易化・標準化、職員研修の継続的实施、現場と本部間の情報共有体制の強化といった改善の方向性が示されている。これらの提言を踏まえ、実行可能な改善策を速やかに検討・実施し、再発防止と信頼回復に向けた組織的対応力の強化を図る必要がある。</u> <その他事項> （同左）
--	---

	修正前	修正後
総合評価	<u>評価：B</u>	<u>評価：D</u>
評価に至った理由	<評価に至った理由> (定量的実績) (略) <u>内部統制の整備及び運用、組織運営に関するリスクの評価と対応、内部監査の実施、機構内及び外部からの情報伝達体制の確保など、年度計画の取組を着実に実施した。</u> (結論) 定量指標を達成し、年度計画において予定されていた取組を着実に実施していることから、年度計画における所期の目標の達成が得られていると認め、「B」評価とする。 <指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策> 2017 年度に発生した予算執行管理問題を過去のものとせず、引き続き機構内のリスク管理強化に取り組まれない。また、令和 5 年度版「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準群」を踏まえ、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP)」への対応や情報セキュリティに関するサプライチェーン対策強化を期待する。 <その他事項> (略)	<評価に至った理由> (結論) <u>フィリピン「首都圏鉄道 3 号線改修事業」(円借款) に関連して機構職員が調達手続に関する秘密情報を漏洩した事案 (※) について、第 217 回国会において参議院決算委員会及び本会議による警告決議を受けたことも踏まえ、主務省として、機構が業務運営の改善その他の必要な措置を講ずる必要があると認め、単に「目標の水準を満たしていない」とする「C」評価の程度を越えて、「抜本的な業務の見直しが必要」とされる「D」評価とする。</u> <u>※フィリピン円借款「首都圏鉄道 3 号線改修計画」に関し、JICA による調査契約の調達において、公示前に、JICA 職員がコンサルタント会社 (2 社) に対して業務指示書案を漏洩。加えて、フィリピン政府による施工監理業務に関し、JICA 職員がコンサルタント (1 社) に対して円借款コスト積算情報や施工監理業務の内容を漏洩した。</u>

	＜指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策＞ 2017 年度に発生した予算執行管理問題を過去のものとして、引き続き機構内のリスク管理強化に取り組まれない。また、令和 5 年度版「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準群」を踏まえ、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）」への対応や情報セキュリティに関するサプライチェーン対策強化を期待する。 <u>また、今回の情報漏洩事案をめぐって、参議院決算委員会の警告決議を受けたことを機構として真摯に受け止め、不正・不適切事案を含む重大事案に係る報告・初動体制の強化、組織横断的な法務・コンプライアンス機能強化、組織内コミュニケーションの強化・改善を含む、再発防止策の着実な履行及びガバナンスの改善等の措置を強く求める。</u> <u>本事案の背景には、内部統制に関する対応力の脆弱性があり、特に、重大事案発生時における初動体制の整備や、法務・コンプライアンス機能の組織横断的な強化、マネジメント層と現場間における意思疎通の体制の確立、職員のコンプライアンス意識の醸成不足が課題として挙げられる。</u> <u>フィリピン円借款事業「首都圏鉄道 3 号線改修事業」に関する検証委員会の報告書（令和 7 年 6 月 13 日）においても、重大事案発生時における初</u>
--	--

		<u>動体制の整備、内部統制担当理事のもとでの組織横断的な対応機能の強化、法務・コンプライアンス部門の設置による専門性の集約、役員と非管理職層との対話や定期面談の導入などによる組織内コミュニケーションの改善、外部通報制度の運用強化、そして職員への研修や理解度チェックテストの実施を通じたコンプライアンス意識の醸成といった改善の方向性が示されている。これらの提言を踏まえ、実行可能な改善策を速やかに検討・実施し、再発防止と信頼回復に向けた組織的対応力の強化を図ることが求められる。</u> <その他事項>（同左）
--	--	---

以上。

なお、現在は変更後のものを掲載しております。